

■ 会社の概要

商号 **株式会社カワタ**
(KAWATA MFG. CO.,LTD.)
本社 〒550-0011
大阪市西区阿波座1丁目15番15号
設立 1951年7月13日
資本金 977,142,640円
従業員数 256名(連結846名)
(役員 出向社員 パート 嘱託は除く)

■ 事業所

● 国内

本社 大阪営業所
大阪市西区
仙台営業所
仙台サービス
仙台市太白区
北関東サービス
群馬県高崎市
埼玉営業所
東京サービス
埼玉県川口市
東京営業所
東京都中央区
南関東営業所
南関東サービス
神奈川県厚木市
静岡営業所
静岡サービス
静岡市駿河区
名古屋営業所
名古屋サービス
名古屋市東区

● 海外

アメリカ カワタU.S.A. INC.
メキシコ カワタマシナリーメキシコS.A.DE C.V.
シンガポール カワタパシフィックPTE. LTD.
タイ カワタタイランドCO., LTD.
レイケンタイランドCO., LTD.
マレーシア カワタマーケティングSDN. BHD.
インドネシア PT. カワタインドネシア
PT. カワタマーケティングインドネシア
中国 川田機械製造(上海)有限公司
冷研(上海)貿易有限公司
川田機械香港有限公司
台湾 川田国際股份有限公司

■ 役員

代表取締役社長 白石 亙
取締役 白井 英徳
取締役 柴 孝幸
取締役 藤坂 祐宏
取締役常勤監査等委員 城 豊治
取締役監査等委員 伊藤 芳伸
取締役監査等委員 石田 章
取締役監査等委員 飯塚 一雄

■ 株式の状況

発行可能株式総数 20,000,000株
発行済株式の総数 7,210,000株
単元株式数 100株
株主数 6,397名
(前期末比 628名増)

■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数
カワタ共仲会	759,100株
(株)三菱UFJ銀行	351,000
高塚 雅博	350,000
カワタ従業員持株会	301,480
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	207,300
高塚 順	150,000
川田 昌美	149,442
野村信託銀行(株)(投信口)	127,900
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口5)	113,500
日本生命保険相互会社	110,700

(注) 上記のほか、自己株式が128,221株あります。

■ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月中
基準日 定時株主総会 3月31日
剰余金の配当 期末 3月31日
中間 9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
☎0120-094-777(通話料無料)

公告方法 電子公告
ただし電子公告による公告ができない場合は、
日本経済新聞に掲載します。
当社ホームページ
(<https://www.kawata.cc/>) に掲載

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部
会計監査人 EY新日本有限責任監査法人

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



トップページ



IRページ

WEBサイトのご案内

詳しいIR情報は、当社ホームページにて掲載しています。

<https://www.kawata.cc/>

株式会社カワタ

検索



株主のみなさまへ

KAWATA IR Report

第71期 中間報告書

2019年4月1日～2019年9月30日



株式会社 **カワタ**
証券コード 6292



TOP MESSAGE

現場第一主義を基本姿勢とし、創業以来培ってきた技術を基に、お客様の生産活動の改善につながる提案と、お客様に喜んでいただける製品・サービスを提供することにより、世界の人々のより豊かで安全な暮らしに貢献します。

代表取締役社長 白石 亙

株主のみなさまには、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。ここに当社の第71期中間報告書をお届けいたします。株主のみなさまにおかれましては、今後ともなにとぞ倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

2019年12月9日

当中間期における業績について

世界経済は、米中貿易摩擦の長期化や中東の政治情勢等の影響並びに英国のEU離脱問題等により、先行きは不透明な状況にあります。更に、中国をはじめとする新興国の経済成長率も先進国と比較すると高いものの、その拡大テンポは緩やかになってきました。

わが国経済は、世界経済の景気減速の影響を受け、生産や設備投資には足踏みが見られ、不透明な状況となっております。また、設備投資の動向を知るうえで先行指標の一つである機械受注統計の推移を見ても、製造業の機械受注額は、2018年10～12月は1兆1,999億円、2019年1～3月は1兆1,070億円、4～6月は1兆1,350億円、7月は3,841億円、8月は3,801億円と、減少傾向が続いております。

このような環境下、当社グループは、プラスチック成形関連のコアビジネスにおきまして、品質の向上、納期の確守、新製品の開発等、競争力強化によるマーケットシェアの拡大を図るとともに、電池、食品、化粧品等の新規販売分野の開拓・拡大に注力してまいりました。

しかしながら、当中間期における受注高は108億1千2百万円、受注残高は63億9千4百万円となりました。売上高につきましては、113億2千5百万円となりました。

損益面では、材料費を中心とした原価低減策や諸経費の削減等に努めましたが、売上高の減少により、営業利益は9億3千1百万円、経常利益は9億1千2百万円となりました。

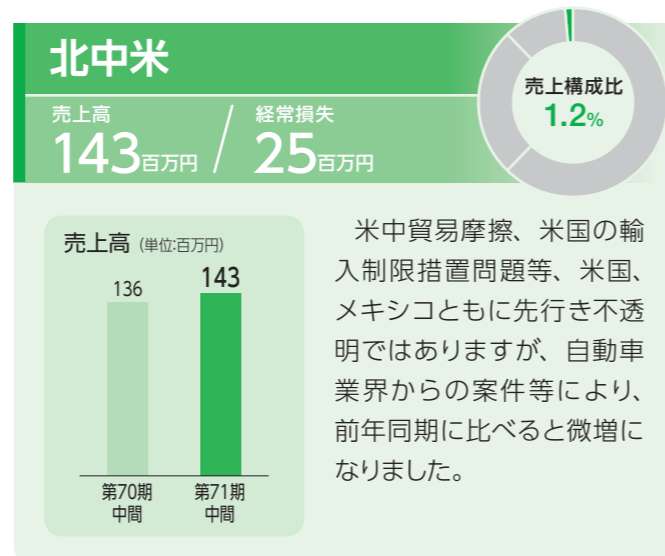
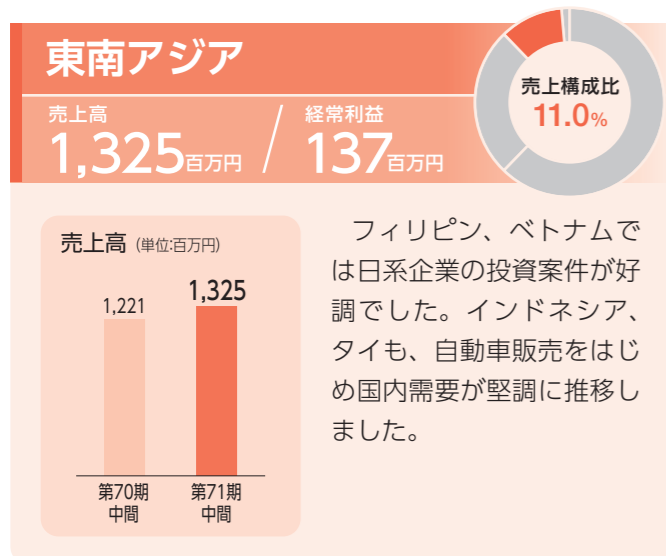
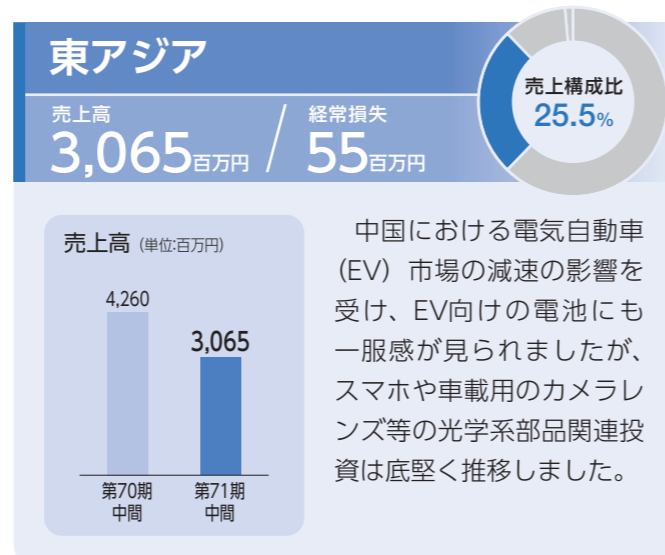
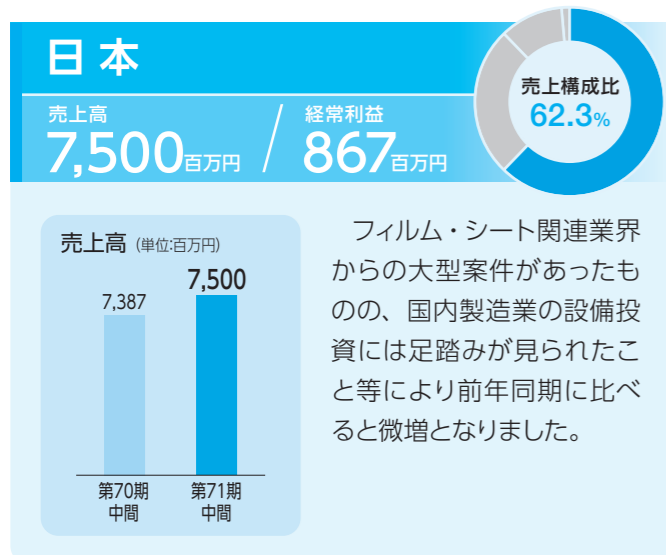
特別損益では、固定資産売却益2百万円を特別利益に、固定資産除売却損1百万円を特別損失に計上し、更に法人税、住民税及び事業税2億4千4百万円、法人税等還付税額8千4百万円、法人税等調整額1億4千5百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億8千7百万円となりました。

今後の見通しについて

世界経済は、米中貿易摩擦の長期化や中東の政治情勢等の影響並びに英国のEU離脱問題等により、先行きは不透明な状況にあります。わが国経済も、世界経済の景気減速や大型台風による自然災害の影響等もあり不透明な状況となっております。

足元ではこのような環境下であります。中長期的には、自動車業界における電動化や自動運転化の流れやIoT、5G等の通信機器の高度化また地球環境に優しいプラスチック新素材への対応やリサイクル等への取組みにより、新規事業分野の開拓・拡大を図ってまいります。

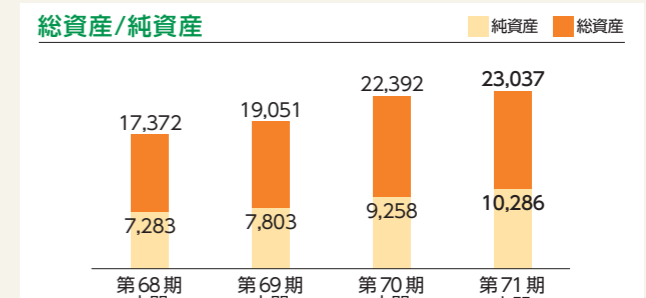
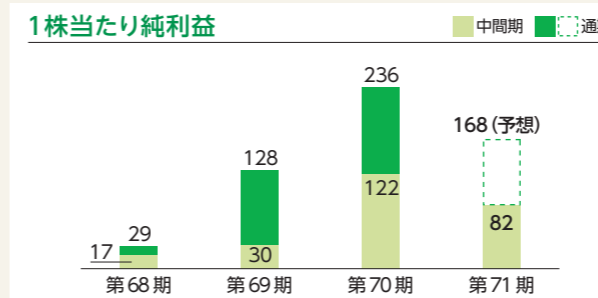
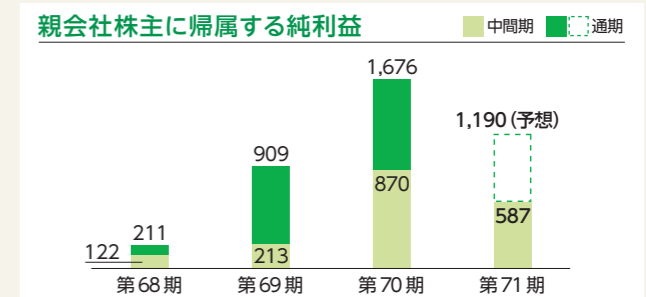
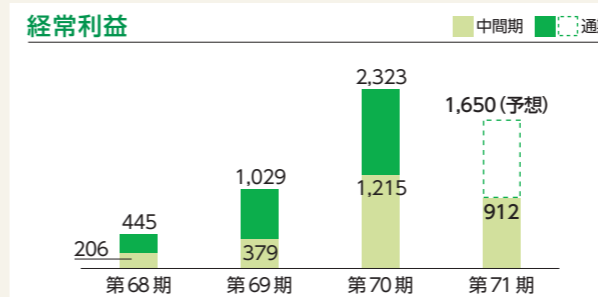
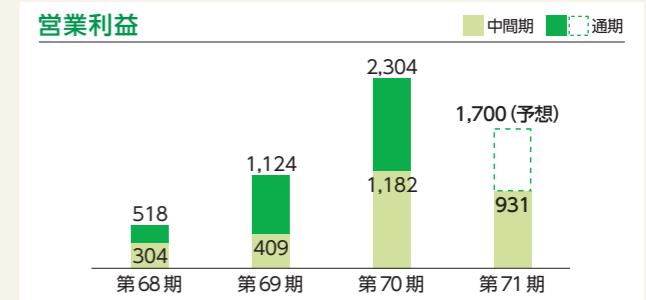
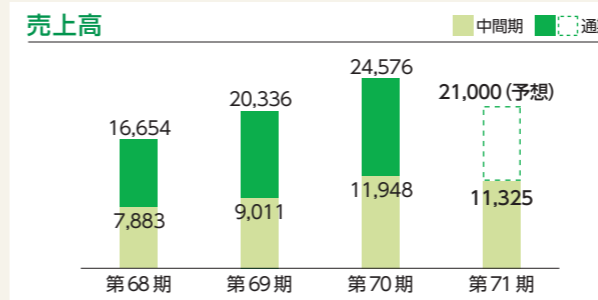
地域別の概況



※各セグメントの数値は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

連結財務ハイライト

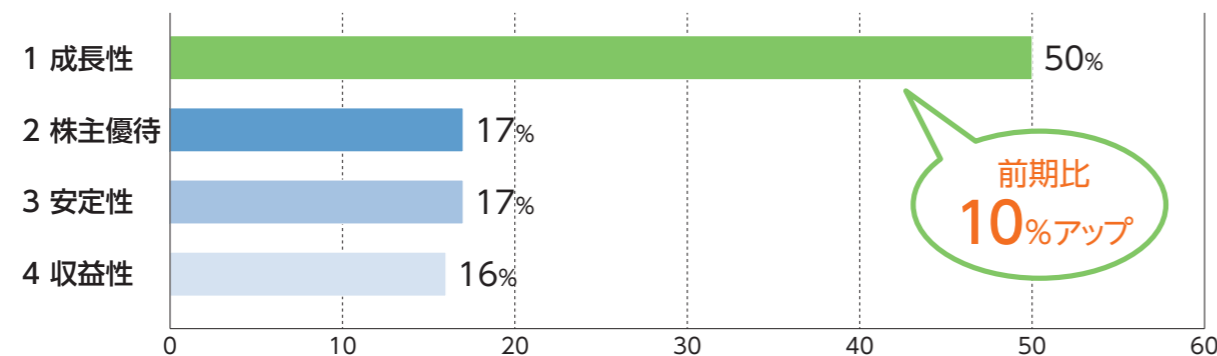
単位:百万円 / 1株当たり純利益のみ単位:円



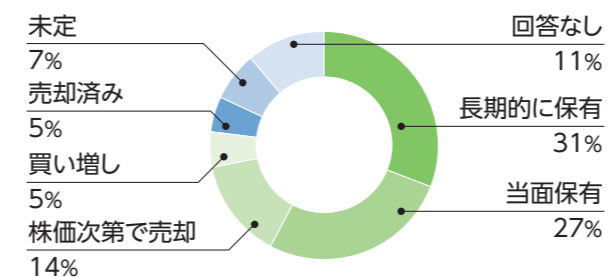
トピックス | 株主アンケート結果のご報告

2019年3月31日時点で当社株式500株以上を保有する株主のみなさまを対象に株主アンケートを実施し、781名の方々からご回答をいただきました。お寄せいただいたご回答の中から一部をご報告いたします。

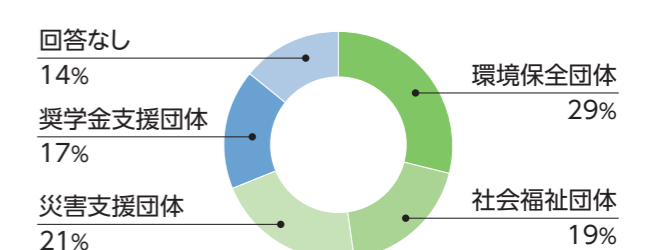
● 当社株式の購入理由 (上位4項目) 複数回答



● 会社株式の今後の方針



● 会社貢献型株主優待の寄付先



● 株主優待寄付金

ご賛同くださった株主のみなさまにつきまして、今年も社会貢献活動団体に11月上旬に寄付をいたしました。みなさまのご協力に感謝申し上げます。なお、寄付先のひとつを、ご要望の多かった環境保全団体に変更いたしました。

寄付金総額 415,000円
 (内訳: 日本赤十字社 207,500円 / 国土緑化推進機構 207,500円)